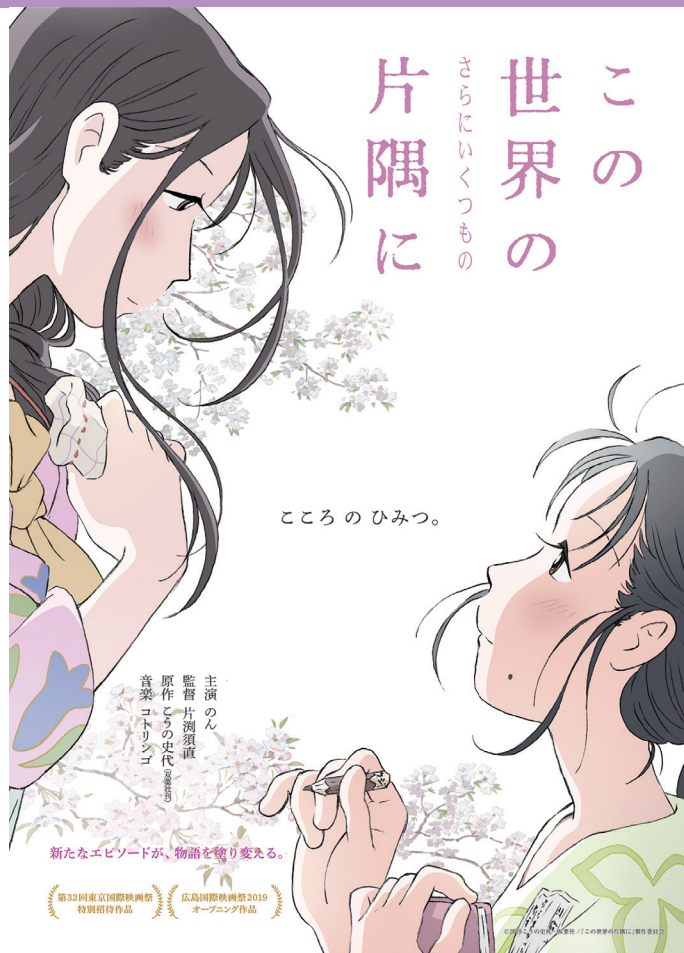


広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌



この世界の(さらにいくつもの)片隅に

こころのひみつ。

主演のん
監督 井瀨須直
原作 じょうの史代
音楽 コトリンゴ

新たなエピソードが、物語を塗り変える。

第32回東京国際映画祭 特別招待作品
広島国際映画祭2019 オープニング作品

©2019 この史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会



▲ 開会式の様子



▲ 舞台挨拶&トークの様子



▲ ロビー展示

12月20日公開『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』
広島・呉に優しく寄り添う、また新たな映画の誕生

戦前戦中の広島・呉を舞台にしたアニメーション映画『この世界の片隅に』の公開から3年、250カットを超えるシーンを追加した「新しい映画」として『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』がまもなく公開日を迎えます。11月22日、広島国際映画祭2019にて、片瀨須直監督、のんさん(すず役)、岩井七世さん(リン役)を迎えてオープニング作品として上映された「特別先行版」と映画祭恒例の監督ワークショップに参加して、より深まったこの作品の一端に触れてきました。

追加された場面により深まる、すずとリンの新しい物語

『この世界の片隅に』は、見知らぬ人に嫁ぐため見知らぬ土地にやってきた主人公すずが、新しい家族との日々の暮らしの中で懸命に役割を果たそうとしながら、自分の居場所を見つけていく物語です。ぼーっとしたところもあり、失敗もしてかすけれど憎めない、その姿は、のんさんの声とともに多くの共感と感動を呼びました。

12月20日公開『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』では、『この世界の片隅に』で詳しく取り上げられていなかった、すずと物語上の重要な存在である遊廓で働く女性・白木リンの交流や二人の関係、二人を取り巻く人々の生きる姿が四季を通して描かれます。人は誰しも多くの面をもっていて、一面だけで捉えられる存在ではありません。追加場面で描かれるストーリーは、これまであった場面

を丁寧に紡ぎなおし、すずにも多くの面があることをあらわにして、物語をさらに深めています。

上映後の舞台挨拶&トークでは、のんさんと岩井七世さんが新しいすずとリンについて、それぞれの役の演技・表現を語りました。“ひみつ”のある複雑な関係であるのに、互いに想い合い、心通わす二人の人物像に厚みが生まれたこと、うわべ優しいだけでなく、胸に突き刺さる痛みもありながら、ほんとうに人に優しく寄り添う物語になったことが分かります。司会の広島フィルム・コミッションの西崎さんからの無茶プリで、突然の名セリフ生アテレコが披露され、会場が大いに沸き新しい映画への期待が高まりました。

ふたつの映画と原作漫画から見つけ出す、さらにいくつもの大切なこと

『この世界の片隅に』は、広島や呉に住む私たちにとって、自分が暮らしているこの土地に対して当たり前すぎて気づいていなかったことの再発見、新しいまなざしをもたらした大切な“たからもの”のような映画でした。新しく『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』が公開されても、その大切さは変わりません。ふたつの映画と原作漫画は、それぞれ異なる面から、すずたちを描き出していて、相互に響き合う作品です。鑑賞し直し読み直すことで、さらにいくつもの大切なことを見つげられるように思います。

広島と呉では、「この世界の片隅に」を支援する呉・広島のをを中心に、この映画を「お帰りなさいすずさん」として迎えるポスター掲示活動も始まっています。ふたつの映画がこれからもずっと、長く愛される作品になることを目指して。
(文・松浦妙子)



「この世界の片隅に」を支援する呉・広島のを
©2019 こうの史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」
製作委員会

- 『この世界の片隅に』(2016年11月12日公開)
公式サイト <https://konosekai.jp/>
公式 Twitter https://twitter.com/konosekai_movie
- 『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』(2019年12月20日公開予定)
公式サイト <https://ikutsumono-katasumini.jp/>
広島上映館：八丁座、呉ポポロ、広島バルト11、
T・ジョイ東広島、福山駅前シネマモードほか

■あわせて観たい・読みたい

映画公開に先立ち、ドキュメンタリー「<片隅>たちと生きる 監督・片渕須直の仕事」(95分)の劇場公開と配信が決定。『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』の制作、全国の映画館での舞台挨拶や映画館に足を運ぶファン達との交流。妥協なきリサーチの日々。数多くの<片隅>に生きる人々の姿。彼らひとりひとりを大切に、向き合ってきた、監督・片渕須直の生き方そのものに迫る。映画にあわせて、是非観ていただきたいドキュメンタリーです。

上映：12月中旬
八丁座、呉ポポロ、テアトル新宿、テアトル梅田ほか全国劇場
配信：12月18日(水)～
iTune, Amazon プライムビデオ, GooglePlay, ひかり TV ほか

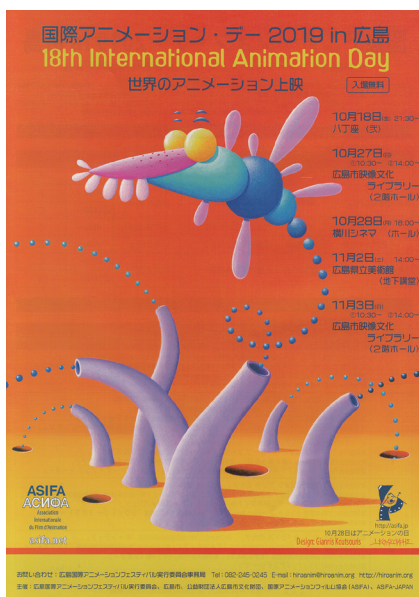


©「片隅たちと生きる」製作委員会

『「この世界の片隅に」この史代 片渕須直 対談集 さらにいくつもの映画のこと』(11/30 発売)をはじめとして、多くの書籍も出版されます。漫画と映画の創作の「ひみつ」に触れて、物語をより深く理解するきっかけになることでしょう。(文・松浦妙子)

● Event Report ①

国際アニメーション・デー 2019 in 広島



- 広島国際アニメーションフェスティバル受賞作品特別上映会
- 10月18日(金) 八丁座・壱
 - 10月27日(日) 広島市映像文化ライブラリー・2階ホール
 - 10月28日(月) 横川シネマ・ホール
 - 11月2日(土) 広島県立美術館・地下講堂
 - 11月3日(日) 広島市映像文化ライブラリー・2階ホール



「国際アニメーション・デー」とは、エミール・レイノーが、パリのグレヴァン博物館にて、自ら発明したテアトル・オプティック(視覚劇場)を用い、世界で初めてアニメーションを一般公開した1892年10月28日を記念して、国際アニメーションフィルム協会(ASIFA)が2002年に制定した記念日です。

1985年から2年に1度、「広島国際アニメーションフェスティバル」を開催してきた広島市においても、この記念日を盛り上げ、より一層、多くの方々に短編アニメーションに親しんでいただくことを目的として、同フェスティバル受賞作品特別上映会が市内各所で催されました。今回は、同フェスティバルの過去の受賞作品の中から計38作品を上映。開催日ごとにテーマや表現手法がまとめられ、ファンが短編アニメーションをより楽しめる機会になりました。

◆ Pick Up!

ポップカルチャー × 幕末 = 広島の新たな伝説の発掘！
幕末彼氏伝 -Legends in Hiroshima-

知られざる歴史の真実が漫画に！
【幕末彼氏伝～高間省三物語～】

【広島本大賞ノミネート作】でもある作家・穂高健一氏の歴史小説『広島藩の志士～二十歳の英雄 高間省三物語』の全編漫画化プロジェクトが進行中です。

『広島藩の志士』は、「大政奉還の立役者は広島藩だった」「広島藩は倒幕・維新で大きな役割を果たした」など幕末史の定説を覆す話題になっている歴史小説です。

それを広島出身の若手漫画家・フジィ FG 氏が若者にもわかりやすく興味を持ってもらえるように漫画化しています。

この物語の主人公は、広島護国神社の筆頭祭神にもなっている「高間省三」。彼のことは広島人の99%は知らないと言われています。

そして、広島人は、毛利元就から原爆まで歴史が空白であり、【広島藩】のことを殆ど知りません。

このプロジェクトは、ネットで支援を募るクラウドファンディングで523%の達成率となり、今まで注目を浴びなかった【真実】に注目が集まり、広島の歴史を伝える活動として、ますます勢いに乗っています。



▲▼ 作品の一場面



● Event Report ② < ゾンビ大学特別ゼミナール 開講！



▲ 会場の様子

松井市長も飛び入り聴講

広島市内のハロウィンイベントとして親しまれている横川ゾンビナイト。今年の「横川ゾンビナイト 5」にも2万人以上の参加者が横川商店街周辺を訪れ、盛り上がりました。

このイベントの連携企画として、10月26日(土)に岡本健先生(近畿大学准教授)を講師にお迎えし、NPO 法人広島アニメーションシ

ティ主催の「ゾンビ大学特別ゼミナール」を開講しました。ゼミでは、近年人気を集めているゾンビをテーマにした映画やアニメーション、マンガなどのコンテンツについて様々な角度から解説。ゾンビコンテンツの変遷や詳細な表現手法の展開など、本格的に説明していただきました。

横川ゾンビナイトを訪れていた松井一實・広島市長もゼミにお見えになり、岡本先生とゾンビコンテンツについての質疑応答を楽しまれました。

岡本先生と参加者の距離が近く、まさに大学のゼミの雰囲気そのままに和気あいあいとしたゼミになりました。

10月26日(土)
会場：広島ゲストハウス縁(えん)
講師：岡本健(近畿大学准教授)
主催：NPO 法人広島アニメーションシティ



▶ 岡本 健 先生

◆ Event Information

■ メディア芸術系の大学・短期大学関連の卒業制作展

比治山大学短期大学部 美術科
第52回 卒業制作展・第18回修了制作展

広島県立美術館 県民ギャラリー (広島市中区上職町2-22)
2020年1月7日(火)～12日(日)
9:00-17:00 (金曜日 19:00まで)

広島市立大学 芸術学部
第22回 広島市立大学芸術学部卒業・修了作品展

広島市現代美術館 (広島市南区比治山公園1-1)
広島市立大学芸術学部棟 (広島市安佐南区大塚東3-4-1)
2020年2月11日(火)-16日(日)
10:00-17:00 (入場16:30まで)

広島国際学院大学 情報デザイン学科
第13回 卒業研究・制作展

JMS アステールプラザ 市民ギャラリー (広島市中区古古町4-17)
2020年2月14日(金)-16日(日)
10:00-19:00 (最終日 15:00まで)



■ 開催決定！ ポップカルチャーひろしま 2020

ポップカルチャーをキーワードに世界各地から若者が集まり、コスプレやアニソン、同人サークル活動等を楽しみながら交流を行うイベントとして、2017年から開催されています。2020年4月に第4回目の開催が決定されました。

日程：2020年4月25日(土)・26日(日)
主催：ポップカルチャーひろしま2020実行委員会
共催：NPO 法人音楽は平和を運ぶ
場所：広島県民文化センター
および旧広島市民球場跡地ほか
ゲスト：速水奨さん(声優)ほか！

詳細は次号の『広島アニメーションだより』(21号)にてお伝えします！



税理士法人
ゆいやまグループ

〒731-5127 広島市佐伯区五日市五丁目9-16
TEL (082) 923-1111(代) FAX (082) 923-1124
E-mail: info@yuiyama.com

広島新銘菓
生もみじ



比治山大学 比治山大学短期大学部

現代文化学部

言語文化学科 日本語文化コース
国際コミュニケーションコース
マスコミュニケーション学科
社会臨床心理学科
子ども発達教育学科

健康栄養学部

管理栄養学科

短期大学部

総合生活デザイン学科
幼児教育科
美術科

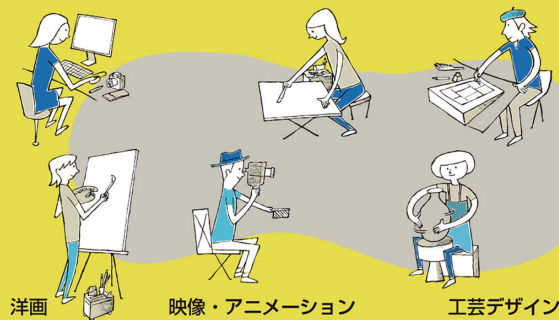


かわらない心。
かわりゆく
時代の先へ。

グラフィックデザイン

日本画

マンガ・キャラクター



洋画

映像・アニメーション

工芸デザイン

比治山大学短期大学部 美術科

発行日：2019年12月20日 発行部数：6000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集：NPO 法人広島アニメーションシティ (HAC)・谷口 重徳 / デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室・内藤 泰雅
【紙面についてのお問合せ】NPO 法人広島アニメーションシティ事務局
〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口重徳 研究室内
http://hac.or.jp Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710